

未病を治す…病気にならないための医学

西洋医学：健康 ----->病気

東洋医学：健康 ----->未病----->病気

『噴怒』が度をこせば『肝気』を傷つける。

『喜笑』が度をこせば『心気』を傷つける。

『思慮』が度をこせば『脾気』を傷つける。

『憂悲』が度をこせば『肺気』を傷つける。

『恐驚』が度をこせば『腎気』を傷つける。

(七情の変化は、特定の臓腑を傷つける)

東洋医学では、精神状態の変化が、病気を引き起こす一つの原因と考えられています。この精神状態に基づく病因のことを、七情(しちじょう)といいます。そして、七情は、特定の臓腑に関係しています。

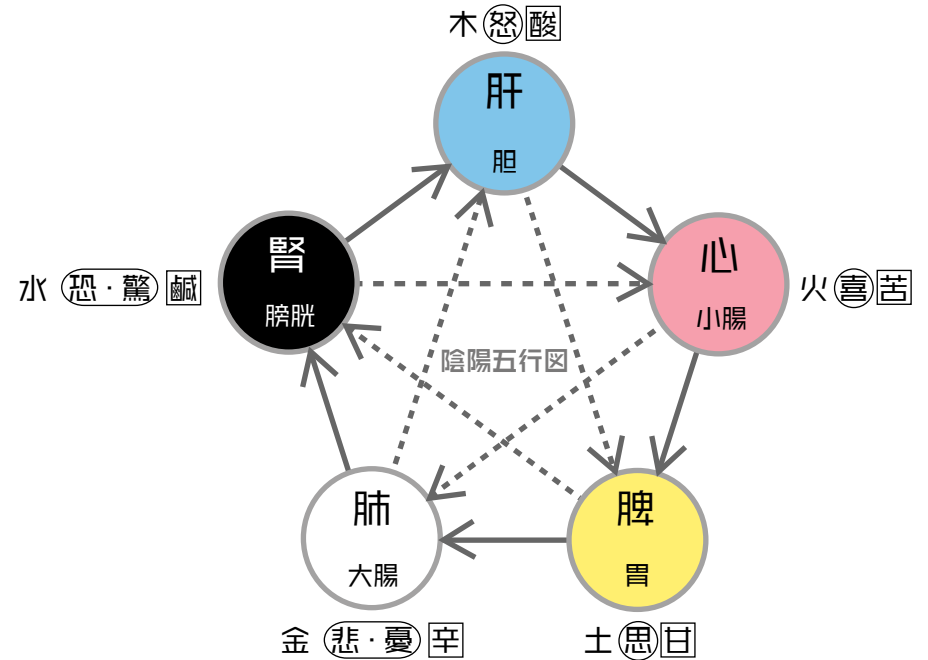
感情を変化させるということは、確かに、人間としては正常な反応です。しかしながら、感情変化の度合いが行き過ぎると、特定の臓腑を痛めつけることになります。すると、臓腑の気血が乱れて、病気を引き起こしてしまいます。

〈五行の色体表 [一部抜粋]〉

*相生：青>赤>黄>白>黒>青 --->

*相剋：青>黄>黒>赤>白>青 --->

木	肝	青	怒	酸
火	心	赤	喜	苦
土	脾	黄	思	甘
金	肺	白	悲・憂	辛
水	腎	黒	恐・驚	鹹



→ 相生 (次臓腑に良い影響を与える)
 - - - -> 相剋 (次臓腑に悪い影響を与える)